

ベネズエラ(ギアナ高地)

■通貨
USDルの現金をお持ちください。その際1・5・10ドルといった小額紙幣をたくさんお持ちになることをおすすめします。クレジットカードはVISAが一番通用度が高いようです。次いでマスター、アメックスとなります。

■気候
南半球の季節はちょうど日本と反対になります。10月後半～3月が乾期にあたります。1年を通じ気温は高いですが、標高が高いため朝晩は冷え込みます。服装は、日差し、蚊よけ対策として動きやすい長袖、長ズボンがおすすめ。カーディガン、トレーナーなどが1枚あると便利です。ジャングルの中のぬかるみを歩いたりするので、濡れたり汚れたりしてもよい靴をご用意ください。

■ツーリストカード(2010年6月1日現在)
日本人が観光目的でベネズエラへ入国する場合、ベネズエラツーリストカードが必要となります。ベネズエラへの直行便の搭乗手続時に取得可能です。 ※入国条件は予告なく変更になる場合があります。

■ギアナ高地へのお持ち物について
●靴 濡れに濡れたり、足元のぬかっ場所や、川底を水に浸りながら歩いたりします。ゴム底のスニーカーや、履き捨てられる靴などを2・3足ご持参いただくことをお勧めします。サンダルはお控えください。●水着は必需品です。●ゴーグル 特にサボの滝の裏側を潜る際に、水泳用のゴーグルがあると便利です。●虫除けスプレー、虫刺されの塗り薬や蚊取り線香など ●服装 Tシャツや下着類は汚れてもよいものをご準備ください。朝晩は冷え込みます。カーディガンやトレーナーをお持ちください。●防水袋 カメラやビデオを入れる専用防水袋 ●日焼け止め用の帽子、サングラス、クリーム ●上記の品物を重さ10kg以内にまとめるためのボストンバック 小型飛行機で移動するためです。

キューバ

■通貨
キューバ国内事情により2010年6月現在外貨の使用は禁止されています。旅行者はキューバ兌換ペソの使用が義務づけられています。キューバ国民が使用するペソは兌換ペソとレートが異なり、我々外国人は利用できません。USDルからの両替は手数料が割高(18%)なため、日本円をお持ちいただくことをお勧めします。両替はハバナ空港到着後、カデカ(CADECA)という両替所です。別途、所定の手数料(日本円の場合3%)がかかります。クレジットカードは、使えないケースも多くあります。1キューバ兌換ペソ=約101.5円(2010年6月1日現在)

■気候
カリブ海に浮かぶキューバは、熱帯にあるにもかかわらず、貿易風の影響で、年間平均約25℃と過ごしやすい気候です。一般に6月～10月は雨期ですが日本の梅雨のように一日中雨が降り続くことはまれで、夕方のスコール(一過性の大雨)が多いです。なお、9月中旬～10月にかけてはハリケーンが多く発生します。服装は、日中は夏服で十分ですが、朝晩の冷え込みや冷房対策としてカーディガンや上着をご用意ください。

■ツーリストカード(2010年6月1日現在)
観光目的で30日以内の滞在の場合、ビザは不要ですがキューバツーリストカードの記入が条件となります(別料金/日本取得)。 ※日本国籍の方の場合の情報です。入国条件は予告なく変更になる場合があります。

カナダ

■通貨
カナダの通貨はカナダドルになります。ホテルや空港で日本円からの両替が可能です。

■気候
9月下旬から10月上旬にかけては紅葉の美しい時期(紅葉は自然現象のため天候条件などにより時期が異なります)になります。冬は雪は比較的少ないものの、寒さは厳しいので重ね着をご用意ください。

コスタリカ・パナマ

■通貨
USDルの現金をお持ちください。その際、1・5・10ドルといった小額紙幣をお持ちになることをおすすめします。クレジットカードはVISA・マスターなどが利用できます。

■気候
5～11月が雨期、12～4月が乾期ですが、地域によって降水量はまったく異なります。サン・ホセ周辺では6～11月の雨期でも午後にはスコールがある程度。標高約1,000mに位置しますので、重ね着できるように上着をお持ちください。モンテベルデは降水量が多く風も強いので、雨具には傘よりカッパをおすすめします。また替えの靴があると便利です。パナマは赤道に近いので1年中、高温多湿の亜熱帯気候です。

■コスタリカの道路事情
一部の道路では、未舗装部分もあり、日本のように道路状況が整っていないため、乗り物に弱い方は酔い止め薬をお持ちください。

■コスタリカへのお持ち物について
コスタリカの温泉では水着やサンダルをご用意ください。

■パナマツーリストカード
パナマ入国にはツーリストカードが必要です。(別料金/30USDル)パナマへの航空機の搭乗手続時、またはその機内で取得が可能です。 ※入国条件は予告なく変更となる場合があります。

メキシコ

■通貨
メキシコではほとんどのホテルや両替所で日本円からの両替ができます。しかし USドルと比べて交換率も非常に悪いため、あらかじめ日本から USドルをお持ちいただくことをおすすめします。

■気候
標高 2,240m の高原都市メキシコシティでは、日中は温暖でも朝晩は冷え込みます。昼間は軽装で十分ですが、夜間は外出用としてセーター、上着など重ね着できるものを、遺跡巡りなどの観光には、動きやすい服装や履き慣れた靴をお持ちください。また虫よけスプレー、ウェットティッシュもあれば便利です。なお、サングラスや帽子もお忘れなく。

■ツーリストカード(2010年6月1日現在)
日本人が観光目的でメキシコへ入国する場合、メキシコツーリストカードの記入が条件となります。ツーリストカードは米国経由地、メキシコに向かう機内またはメキシコの入国審査場でご入手いただけます。 ※入国条件は予告なく変更になる場合があります。

■食事について
メキシコでは通常、昼食が 14:00 頃、夕食が 20:00 頃となります。

■遺跡の観光について
遺跡の一部建物は文化財保護のため、入場または登ることが制限されています。

■ビデオカメラ
遺跡・博物館などでビデオカメラを持ち込む場合は 5 USDル程度の持ち込み料が必要となります。また、三脚は使用禁止です。 ※料金は現地にてご確認ください。

■ホテルについて
ホテルチェックイン時にデポジット(支払保証金)あるいはクレジットカード(VISA またはマスター)の提出が必要となります。

グアテマラ/ホンジュラス

■通貨
日本円からケツアルへの両替は出来ません(銀行でも)ので、日本で USDルの現金(1・5・10ドルといった小額紙幣)に両替のうえ、現地ホテルにて改めて両替することをおすすめします。ホンジュラスのコパンではUSDルからの両替もできますが、グアテマラの通貨ケツアルを使用することが可能です。

■気候
海岸低地帯:熱帯性。高原地帯:温帯性。それぞれ雨期・乾期あり。11～4月が乾期、5～10月が雨期になります。集中豪雨もあるので雨具が必要です。降っている間は雨具も役に立たないほどですが、1日中降ることはあまりありません。ホンジュラスのコパンでは、夏服のご用意で過ごせますが、朝晩は冷え込みますのでウィンドブレーカーやカーディガンは必要です。

コロンビア

■通貨
USDルの小額紙幣をたくさんお持ちになることをおすすめします。

■気候
12月～2月頃が乾期です。標高約2,600mのボゴタは1日の寒暖差があります。カルタヘナ、レティシアは高温多湿です。

ペルー

■通貨
USDルの現金をお持ちください。その際1・5・10ドルといった小額紙幣をたくさんお持ちになることをおすすめします。クレジットカードはVISAが一番通用度が高いようです。次いでマスター、アメックスとなります。

■気候
クスコやチチカカ湖などの高地では、1日の寒暖差が激しく、10～4月の雨期は雨具が必要です。日中は暑いですが、朝晩は冷え込みます。各地の温度差がかなりあるので薄手のものを重ね着するとよいでしょう。カーディガン、セーター、ウィンドブレーカー、日除けの帽子やサングラス、日焼け止めをお持ちください。また、徒歩で観光する個所が多いので歩きやすい靴をご用意ください。

■マチュピチュ遺跡について
持ち物のご参考として、ルックJTBの添乗員やツアー企画担当者が出張時に持参しているものを以下にご案内します。●歩きやすい履き慣れた靴 ●ナップサック(山の斜面にある遺跡ですので、安全のため両手を空けるようにしています) ●軍手 ●カッパ(降雨時は風が強いことも多く、傘より便利) ●日除けグッズ(帽子等) ●虫除け剤(蚊が多いです)

ブラジル

■通貨
USDルの現金をお持ちください。その際1・5・10ドルといった小額紙幣をたくさんお持ちになることをおすすめします。クレジットカードはVISAが一番通用度が高いようです。次いでマスター、アメックスとなります。

■気候
リオデジャネイロなど亜熱帯地域では、はっきりした四季の区別はありません。10月から4月は比較的降水量の多い時期にあたりますので、雨具が必要です。また、徒歩で観光する箇所が多いので歩きやすい靴をご用意ください。

■アマゾン観光について
年間を通じて高温多湿で、スコールもよくあります。

■アマゾン観光の服装・持ち物
●虫除けなどから長袖、長ズボン、軍手 ●歩きやすい運動靴やトレッキングシューズ ●虫除けスプレー、虫さされの薬 ●ウェットティッシュ ●サングラス・帽子

アルゼンチン

■通貨
USDルの現金をお持ちください。その際1・5・10ドルといった小額紙幣をたくさんお持ちになることをおすすめします。クレジットカードはVISAが一番通用度が高いようです。次いでマスター、アメックスとなります。

■気候
南北に細長い国土のため、地域により気候が異なります。ブエノスアイレスでは四季がありますが、日本と寒暑が逆です。服装は夏服で十分ですが、夜は涼しくなるのでカーディガンや上着をご用意ください。

パタゴニア(アルゼンチン・チリ)

■通貨
USDルの現金をお持ちください。その際1・5・10ドルといった小額紙幣をたくさんお持ちになることをおすすめします。

■気候
パタゴニアでは年間を通して気温が低く、風も強いのが特徴です。南極大陸から風が吹き込みますので、夏でもセーターやトレーナーの上にウィンドブレーカーなどの防寒具をお持ちください。

■荷物について
13日間コースの日程6日目は、徒歩でグレイ湖、サルト大滝へ向かいますので、軽トレッキングシューズをご用意ください。また風の強い地域ですので、雨具には傘よりもカッパをおすすめします。

エクアドル(ガラパゴス)

■通貨
USDルの現金をお持ちください。その際1・5・10ドルといった小額紙幣をたくさんお持ちになることをおすすめします。また、使用できる場所は限られますが、国際クレジットカードも便利です。トラベラーズチェック、日本円からの両替はできませんのでご注意ください。

■クルーズ船内で使用可能な国際クレジットカード
VISA、マスター、アメックスがご利用いただけます。ダイナースは使用できません。

■気候
ガラパゴス諸島は赤道直下にあります。海流の関係で1年中比較的過ごしやすい気候です。日中はTシャツやショートパンツで十分ですが、夜は冷え込むこともあります。1日の気温差が激しいのでセーターや上着をお持ちください。

■ガラパゴス観光でのご注意
かけがえのないガラパゴスの自然を保護するため、見学に際しては自然観察ガイドの指示にご協力ください。また島からは何も持ち出すことはできません。

チリ(イースター島)

■通貨
ペソ(PESOS)。USDルも使えますが、お釣りはペソになります。日本及びタヒチから持って行く通貨はUSDルが便利です。

■気候
南半球にあるイースター島は、平均気温は21℃位です。すべりにくく履き慣れたスニーカー、リュックサックなどをご用意ください。歩いて観光する個所が多いので、動きやすい格好がおすすめです。また、観光個所によっては風が強かったり冷え込むので、防寒具・雨具をお持ちください。